

第63期 中間報告書

2023年1月1日▶2023年6月30日

証券コード：6459



大和冷機工業株式会社
<https://www.drk.co.jp>

株主の皆様へ



代表取締役社長
尾崎 敦史

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、2023年6月30日をもって、第63期事業年度の中間期（2023年1月1日から2023年6月30日まで）を終了いたしましたので、この期間の事業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制緩和にともない、個人消費の持ち直しや、企業収益が改善するなか、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに

回復してきました。

海外経済では、景気の持ち直しが続いています。ただし、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や世界的な金融引締めが続くなか、海外景気の下振れ懸念が、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社の主要取引業種の外食産業においては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ変更されたことにより、全体として外食需要は回復の動きがみられました。一方で、原材料価格の高騰、人件費の上昇により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、フードロス問題や中食需要の増加に対応するため、新たに液体急速凍結機を開発し市場投入することにより、飲食店を中心とした顧客の新ビジネス展開へのサポートを強化いたしました。また、新調理システムによる省エネ化、省人化によるコスト削減提案や、IoTを活用した遠隔温度監視システムの提案等で機器導入の付加価値を高め、顧客満足度向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間における経営成績につきましては、売上高226億6千1百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益40億5千7百万円（前年同期比22.0%増）、経常利益39億8千7百万円（前年同期比21.8%増）、四半期純利益26億9千5百万円（前年同期比36.2%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善等から景気の緩やかな回復が期待されるものの、物価の上昇、金融資本市場の変動等、依然として予断を許さない厳しい経済環境が続くものと予想されます。

このような環境のもと、当社は、社業の安定成長を図るため、顧客のニーズを的確かつ迅速に捉えて新製品の開発と新規顧客の開拓に繋げ、常に安全・安心を提供できるサービス技術の一層の強化等、顧客の信頼に応えうる諸施策を積極的に推し進め、かつ、製造コストと経費の削減を図り、収益基盤の改善に努めてまいり所存であります。

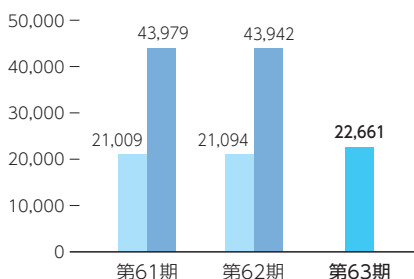
なお、中間配当金につきましては、1株につき15円とさせていただきますので、ご報告申し上げます。

財務ハイライト

売上高

単位(百万円)

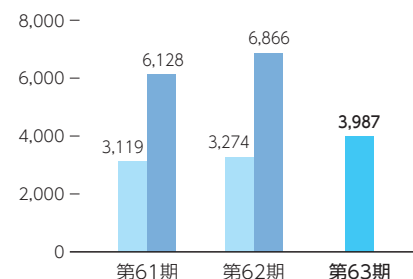
■ 中間 ■ 期末



経常利益

単位(百万円)

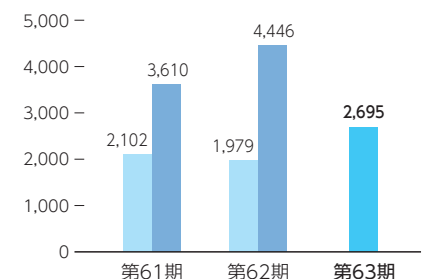
■ 中間 ■ 期末



四半期(当期)純利益

単位(百万円)

■ 中間 ■ 期末



SDGsへの取り組み



大分県佐伯市に、 企業版ふるさと納税制度で100万円を寄附

当社はSDGs取り組みの一環として大分県佐伯市が取り組んでいる企業版ふるさと納税のプロジェクトの一つである「さいき城山桜ホールにぎわい創出プロジェクト」に賛同し、100万円の寄附を行いました。寄附金はさいき城山桜ホール企画運営事業に活用される予定です。

今回の寄附の趣旨として、当社と深いつながりがある佐伯市のSDGs達成に向けた取り組みとさいき城山桜ホールで開催されている様々な世代を対象にした「食のまち」佐伯ならではの食育の活動テーマに、食に携わる企業として深く賛同したためです。



企業版ふるさと納税（[地方創生応援税制]とは）

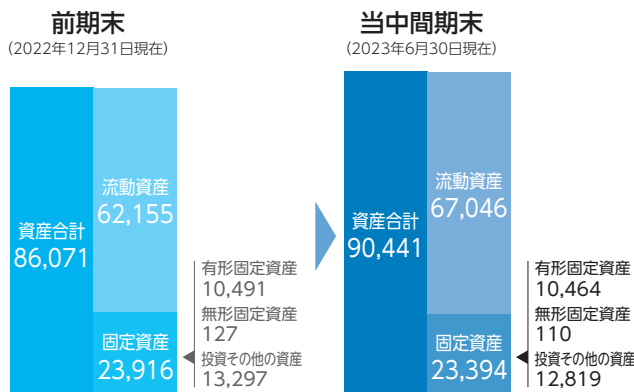
企業が寄付を通じて地方創生を応援する制度。国が認定した、地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して寄付された場合、税制上の優遇装置を受けることが可能。佐伯市ではこの制度を活用して、企業と共に次世代のために、SDGs達成に向けた取り組み、「さいき創生」を進めています。



四半期貸借対照表

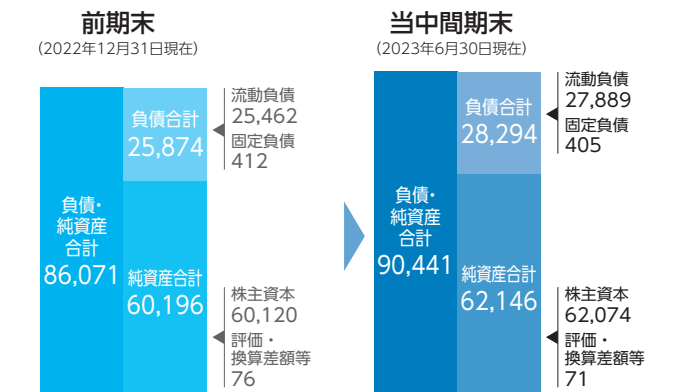
資産の部

単位(百万円)



負債の部

単位(百万円)



展示会出展レポート



第23回厨房設備機器展

2023年2月7日(火)～2月10日(金) 東京ビッグサイト

これからのフードサービスを“支える”

「外食産業の持続可能な未来のトビラを拓く」をテーマに掲げ、これから動き出すために何が必要かをお客様と共に考えることを提案。

テーマに沿って、新調理機器を始めとした自社製品や飲食店のDX化を図る配膳ロボを展示し、ブース内は終始賑わいを見せておりました。



(左)高電位急速凍結庫 一気凍鮮くん
(右)電子式鮮度保持冷蔵庫 鮮度くん
冷凍食品市場の拡大により当社でも着目してきた「急速凍結」の技術。次世代の技術“高電位電圧をかけた状態での凍結”で高鮮度を維持することが可能！ロス減少や新しい販路の拡大を提案。



配膳ロボ
非接触・人件費削減等チェーン店でも多く導入

ショーケースと厨房機器の総合厨房

特注対面ショーケースを目玉に、両開き扉冷凍庫、多段オープンショーケース、電解次亜水生成装置、新調理システム機器を展示。

今回新たな試みとして、冷凍パン生地をスチコンにて焼成を行い、パン事業の簡易化を提案し、店舗・厨房のトータルソリューションをPRしました。



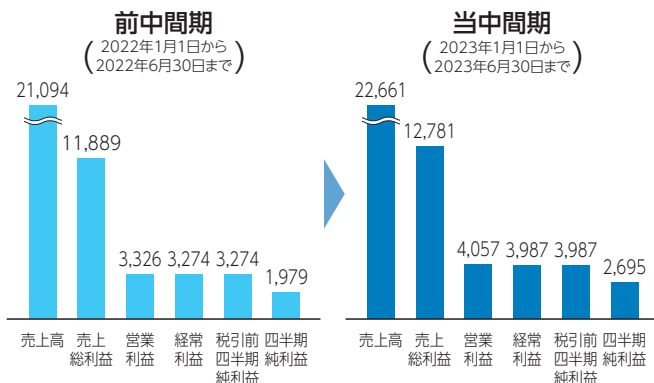
モバックショウ2023

2023年2月28日(火)～3月3日(金) 幕張メッセ

四半期損益計算書

第2四半期累計期間

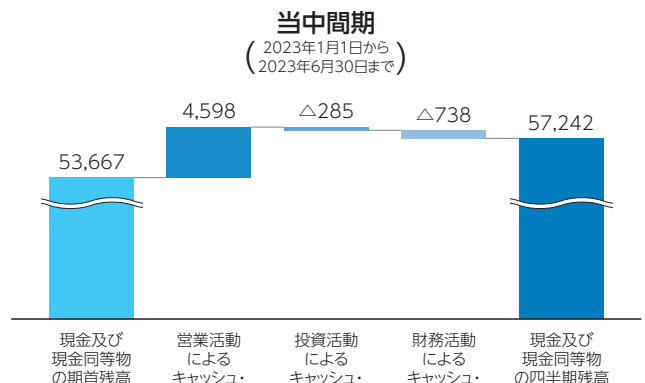
単位(百万円)



四半期キャッシュ・フロー計算書

第2四半期累計期間

単位(百万円)



会社の概況

2023年6月30日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英文名称	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株(自己株式 2,352,891株を含む)
中間期末株主総数	2,722名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市大字北谷字岸田206番地6
関東大根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	2,479名
事業内容	● 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機及び冷熱応用製品の製造販売及びリース並びに点検修理 ● 冷熱機器の設備の工事及び各種部品の製造販売並びに点検修理 ● 厨房機器、装置、部品の製造販売及びリース並びに点検修理 ● 店舗・厨房の企画、設計及び施工

役員

(2023年6月30日現在)

代表取締役社長	尾崎 敦史
取締役副社長	尾崎 雅広
専務取締役	杉田 壽宏
取締役	工藤 哲郎
取締役	小野 芳明
取締役	出納 美宏
取締役	添田 千夏
取締役	峠田 晃宏
取締役	中西 美里
常勤監査役	赤壁 誠司
監査役	楠 裕美
監査役	西村 博史

(注) 1. 取締役 小野芳明、出納美宏、添田千夏、峠田晃宏、中西美里の5氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 楠裕美、西村博史の両氏は、社外監査役であります。

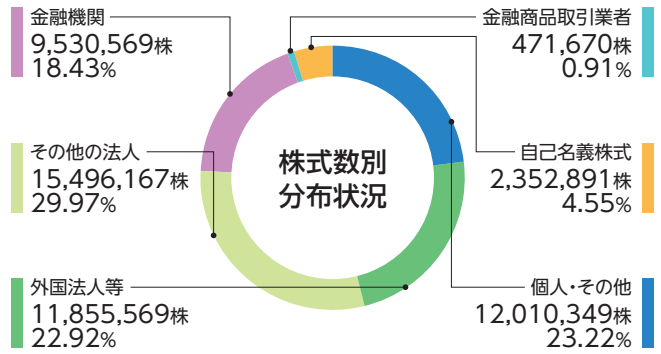
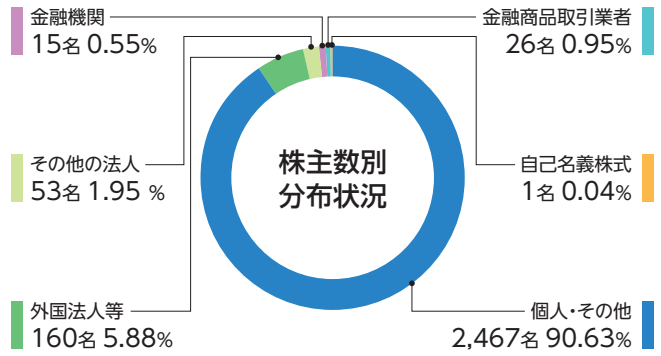
執行役員

(2023年6月30日現在)

社長執行役員	尾崎 敦史
副社長執行役員	尾崎 雅広
専務執行役員	杉田 壽宏
執行役員	工藤 哲郎
執行役員	原田 達志
執行役員	足達 俊介
執行役員	長谷川 敬一
執行役員	亀井 誠二
執行役員	小原 真一

株式分布状況

2023年6月30日現在



株主メモ

(2023年6月30日現在)

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	12月31日
中間配当金受領 株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	特別口座の口座管理機関連絡先 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告により行う (公告掲載URL https://www.drk.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によっては、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。